



# シニアプレミアム 新春号

Smart senior council Kyushu

2023年1月1日

一般社団法人九州賢人会議所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-9-28 福岡商工会議所ビル1F

TEL : 092-451-8610 FAX : 092-451-8612

E-mail [kyushu@kenjinkaigisho.com](mailto:kyushu@kenjinkaigisho.com) Uhttp://www.kenjinkaigisho.com



新年あけましておめでとうございます。謹んで初春のお喜びを申し上げます。2014(平成26)年に発足したこの九州賢人会議所は、今年設立9周年を迎えます。これも偏に会員の皆様のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。当会議所では設立以来、①高齢者自身の活用、②生き甲斐創り、③次世代への継承、④社会貢献、の4つを柱に活動を続けてきました。今後更なる高齢化の進展に伴い、当会議所の存在意義はこれまでに増して一層高まっていくものと考えています。今後も地道な活動を精力的に取り組み、社会全体の活性化を図るため、皆様と一緒にその一翼を担っていきたく思います。今年も大いに活動を楽しみ、会員拡大に向けて進みましょう。引き続き宜しくお願い申し上げます。

会長 松尾 新吾

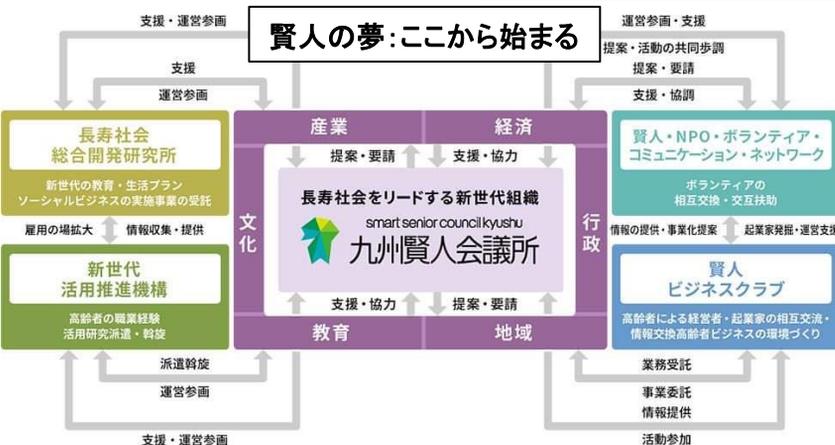
「長寿社会の羅針盤を目指す」平成26年(2014)7月29日に九州賢人会議所が設立されました。それから10年、本会は、令和6年(2024)設立10周年を迎えます。そんな経緯の中、健全で、生き生きとした豊かな長寿社会の実現を目指して、次なる挑戦が始まります。世の指導者たる人々は、国家を創り、社会を創り、人を創る責務を負います。「今日、暗雲漂うも、万人を常に希望に誘うべし。暗雲は、干天の慈雨となり、風は雲を祓い、太陽と共に万物を育てる。」私たち賢人会議所は、この「長寿社会」という新世代の「羅針盤」を目指したい。今回の設立10周年、私たちは、この事業「創業の志」に還り「原点の確認」と「未来への展望」を明確にしたいと思います。

「長寿社会はあなたが主役」「進化し続ける価値ある人生を一長寿社会はあなたが社会の担い手です」。これが、賢人会議所のパンフレット冒頭にある言葉です。そして「憲章」として、『高齢社会の到来は、すなはち長寿社会における新しい世代の誕生を意味し、高齢者に新しい役割が求められます。支えられる側から支える立場に一再び社会の担い手として、社会は賢人足らんとしての行動を期待し、私たちは自己が賢人たらんと研鑽していくことを誓います。』と謳っています。



明けましておめでとうございます。みなさん、輝いていますか。ワクワクしていますか。「感動と共感」一皆様もぜひ、あなたも一度、心ばえのする青春真っ只中のシニアと一緒に時間を過ごしませんか。あなたは、その出会いの中で新しい時代とも出会えるでしょう。そして、新しいあなたと出会うことも請け合いです。自分のミッションを再確認して、生在る限り輝いて生き抜きましょう。「生きること」、それは生かし合いの世界で「自分が生かされている」ことを知ることだと感じています。私たちは、この宇宙のこと、地球のこと、国家のありよう、地域づくり、人づくりなど、さまざまなことを考え、共に取組み健全な社会を創っていきたく願っています。皆様にとりまして、新年が素晴らしい実りある歳でありますように心から祈念申し上げます。宜しくお願い申し上げます。

理事長 小早川 明德



## 賢人「掟(おきて)」八則

1. 「やせがまん」を通します
2. 「ぶりっ子」に徹します
3. 「おせっかい」に努めます
4. 「ユーモア」を磨きます
5. 「老婆心」を発揮します
6. 「笑顔」で輝きます
7. ぐちをやめ潔く生きます
8. 「ありがとう」を歌います



### 生き甲斐創り事業部会

部会長 芦塚 日出美（株式会社博多座 元代表取締役社長）

高齢者が生き生きと社会参画できる社会の実現を目的とした活動に取り組むと共に、自分自身の能力や感性を磨くために美術や音楽、芸能文化等に直接触れて「心の栄養」を吸収し、シニアに文化的な楽しみが提供できる「場」創りに取り組んでいきたいと思ひます。

### 健康創り事業部会

部会長 原 寛（社会医療法人原土井病院 理事長）

生活習慣の改善による健康創りを提唱する「元気100倶楽部」と連携で健康体を維持するための「健康長寿フェア」と「定例会」等で学びと実践の「場」を提供した様々な活動に取り組んでいます。



### 学びの場創り事業部会

部会長 大内田 勇成（株式会社ウエストホールディングス 最高顧問）

学びの場を広く提供するため、当事業部会の趣旨に賛同・理解を寄せ公共教育施設や社会福祉施設等と連携するとともに、会員相互の協力を得ながらモデル事業を開発していく柔軟な取り組みをモットーとしています。

また会員拡大の推進力となるよう、会員相互の情報交換や親睦を深める場として「福岡の歴史を楽しく学ぶ」活動を行っています。

### 社会環境創り事業部会

部会長 大野 太三（丸三工業株式会社 代表取締役会長）

高齢者が社会で活躍し得る環境創りのために、高齢者雇用を取り巻く環境などの実態調査や企業の動向調査などを行い、。独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構と連携した活動を行っています。



### 次世代創り事業部会

部会長 右田 喜章（株式会社ホークスタウン 元会長）

高齢者が持つ、知識、経験、技術を次世代に伝承する諸活動を目的とし、①青少年・学生事業の支援、②歴史、伝統及び精神文化の継承、教育のための次世代人材育成事業の推進、③社会・行政に対する“次世代創り”の提言の実施を三つの柱として活動しています。

### 国際社会との連携事業部会

部会長 大霜 洋（九州スタッフ株式会社 代表取締役会長）

進化する国際社会においては、高齢者の海外交流も現代の要件となっています。特に東南アジア諸国との交流・親睦を深めるための研修・視察旅行を企画、実施し、リアルタイムでの生きた情報収集を楽しんでいます。



### 農業再生支援事業部会

部会長 真田 彬（有限会社ピーアンドピー 代表取締役会長）

農業が直面する課題を解決するための支援を行うことを目標の柱とし、現状を知るための勉強会や意見交換会、さらには、食を通じた交流、産地を訪ねる美味しい旅も計画しています。

### 例会委員会

委員長 井手 和英（筑邦銀行 元頭取）

例会委員会では、各部会を横でつなぐために月1回時宜に応じた勉強会を開催し会員同士の全体の和を創り一体感創りに貢献しています。コロナが落ち着けば勉強会後の懇親会も企画予定です。

